

令和3年第1回定例会

富良野市議会会議録

令和3年3月1日(月曜日)午前10時00分開議

◎議事日程(第3号)

- 日程第 1 議案第 9号 令和2年度富良野市一般会計補正予算(第14号)  
日程第 2 議案第10号 令和2年度富良野市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)  
日程第 3 議案第11号 令和2年度富良野市介護保険特別会計補正予算(第3号)  
日程第 4 議案第12号 令和2年度富良野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)  
日程第 5 議案第13号 令和2年度富良野市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)  
日程第 6 議案第14号 令和2年度富良野市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)  
日程第 7 議案第15号 令和2年度富良野市水道事業会計補正予算(第2号)

◎出席議員(18名)

議長	18番	黒岩岳雄君	副議長	13番	今利一君
	1番	宮田均君		2番	渋谷正文君
	3番	大西三奈子君		4番	松下寿美枝君
	5番	大栗民江君		6番	関野常勝君
	7番	石上孝雄君		8番	水間健太君
	9番	小林裕幸君		10番	家入茂君
	11番	本間敏行君		12番	佐藤秀靖君
	14番	宇治則幸君		15番	日里雅至君
	16番	天日公子君		17番	後藤英知夫君

◎欠席議員(0名)

◎説明員

市長	北猛俊君	副市長	石井隆君
総務部長	稲葉武則君	市民生活部長	山下俊明君
保健福祉部長	柿本敦史君	経済部長	川上勝義君
		兼ぶどう果樹研究所長	
建設水道部長	小野豊君	看護専門学校長	澤田貴美子君
総務課長	今井顕一君	財政課長	藤野秀光君

企画振興課長 関 澤 博 行 君

教育委員会教育長 近 内 栄 一 君

教育委員会教育部長 亀 淵 雅 彦 君

農業委員会事務局長 井 口 聡 君

---

◎事務局出席職員

事務局 長 清 水 康 博 君

書

記 大 津 諭 君

書 記 佐 藤 知 江 君

書

記 向 山 孝 行 君

午前10時00分 開議  
(出席議員数18名)

## 開 議 宣 告

○議長（黒岩岳雄君） これより、本日の会議を開きます。

## 会議録署名議員の指名

○議長（黒岩岳雄君） 本日の会議録署名議員には、  
松 下 寿美枝 君  
宇 治 則 幸 君  
を御指名申し上げます。

## 諸 般 の 報 告

○議長（黒岩岳雄君） この際、諸般の報告をいたします。

2月26日、会議終了後、予算特別委員会が開かれ、委員長に石上孝雄君、副委員長に小林裕幸君が互選された旨、報告がございました。

以上で、諸般の報告を終わります。

### 日程第1

#### 議案第9号 令和2年度富良野市一般会計補正 予算（第14号）

○議長（黒岩岳雄君） 日程第1、議案第9号、令和2年度富良野市一般会計補正予算を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑は、予算第1条の歳出より行います。

事項別明細書30ページ、31ページをお開きください。

1款議会費、2款総務費、30ページより35ページ中段までを行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） ないようですので、次に移ります。

3款民生費、34ページ下段より41ページ上段までを行います。

質疑ございませんか。

12番佐藤秀靖君。

○12番（佐藤秀靖君） 38ページ、39ページ、3款2項1目児童福祉総務費の112番、児童手当支給事業費の児童手当のマイナス2,074万5,000円、それから、3款2項2目母子福祉費の140番、児童扶養手当支給費のマイナス1,000万円、この両件について伺います。

両件ともマイナス補正であります。両方とも金額が非常に大きいマイナスとなっておりますけれども、このマイナス要因として、これは事前の申請ベースということでは理解しているところですが、予算の金額と乖離が大きい理由についてお聞かせいただきたいと思います。

○議長（黒岩岳雄君） 御答弁願います。

市民生活部長山下俊明君。

○市民生活部長（山下俊明君） 佐藤議員の御質問にお答えいたします。

3款民生費2項児童福祉費1目児童福祉総務費の112番、児童手当支給事業費の減額分についてでございますが、児童手当につきましては、例年、11月、12月ぐらいに次年度の予算の算定を行っております。その時点におきまして、昨年、令和2年度の予算額として2億5,429万円の支払い見込みということで予算を計上したところでございます。

その後、4月になりまして令和2年度の支給を行っていくわけでございますけれども、減額の主な要因というか、予算を積算する当時は、該当になるであろう児童の学年ですとか、所得要件もございまして、あくまでも予算作成時の実数値で計上しております。ある程度、見込みというのも必要ではないかというふうに思いますけれども、転入や転出、出生といったことにつきましては勘案せず、あくまでも予算作成時の実数値で積算しております。細かい分析までは行っておりませんが、あくまでも支払いベースで減額の補正をしたということございまして、要因につきましては対象児童の減が挙げられるのかなというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（黒岩岳雄君） 続けて、御答弁願います。

教育委員会教育部長亀淵雅彦君。

○教育委員会教育部長（亀淵雅彦君） 佐藤議員の御質問にお答えいたします。

3款2項2目母子福祉費の140番、児童扶養手当支給事業費の減額についてでございます。

こちらの要因につきましても、まずは、先ほど市民生活部長から説明がありましており、予算の作成時におきましては前年度の実績等々を勘案しながら行っているところでもありますけれども、実際に支給実績ということで追ってきた中では、当初よりも対象者が減ったということです。その要因につきましては、転出でありましたり、再婚等々によりまして資格要件が喪失したりといったことから、今回このような減額となったところでございます。

以上です。

○議長（黒岩岳雄君） よろしいですか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） そのほか質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) ないようですので、次に移ります。

4款衛生費、6款農林業費、40ページ下段より47ページ上段までを行います。

質疑ございませんか。

17番後藤英知夫君。

○17番(後藤英知夫君) 40ページ、41ページ、4款1項1目の195番、地域センター病院新型コロナウイルス感染症対策支援金について伺います。

この財源は、負担金と寄附金というふう聞いています。負担金については、他の4町村からいただいているというふう聞いてはいますが、その割合の積算方法について伺いたいと思います。

○議長(黒岩岳雄君) 御答弁願います。

保健福祉部長柿本敦史君。

○保健福祉部長(柿本敦史君) 4款1項1目の195番、地域センター病院新型コロナウイルス感染症対策支援金についての後藤議員の御質問にお答えいたします。

圏域4町村からの負担金の設定根拠でございますが、今回、計上しています1,050万円のうちの約2分の1ということで、500万円を圏域での支援にしようということ圏域連携協議会委員会の中で確認、決定させていただきました。

この割合は、こういう感染症ということですので、皆さんにリスクがあるということも勘案して、人口割にさせていただきます。人口割でいきますと、500万円のうち、富良野市が263万2,000円で、そのほかの236万8,000円分が4町村からの負担ということでございます。

以上でございます。

○議長(黒岩岳雄君) よろしいですか。

(「了解」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) そのほか質疑ございませんか。

2番渋谷正文君。

○2番(渋谷正文君) 同じく、40ページ、41ページ、4款1項1目の195番、地域センター病院新型コロナウイルス感染症対策支援金の1,050万円についてです。

いま、積算の方法について質問がありましたけれども、まず、この地域センター病院新型コロナウイルス感染症対策支援金を行おうとした経過についてお知らせしていただきたいと思います。

その上で、なぜ圏域間で進んだかということはいま答弁があったかと思いますが、これについて、実は、支給しているのは民間の病院でありますけれども、公的機関ではないといいましょうか、公的病院ではないけれども、どうして行ったかということも含めてその経過をお知らせいただきたいと思います。

2点目ですけれども、病院では、新型コロナウイルス

感染症対策に携わった方に特殊勤務手当としてお支払いしていると思うのですが、国のほうでは、支払う特殊勤務手当の上限を4,000円までというふうになっているかと思えます。実際にどれぐらいの金額を算定基準としているのか、お知らせください。

○議長(黒岩岳雄君) 御答弁願います。

保健福祉部長柿本敦史君。

○保健福祉部長(柿本敦史君) 渋谷議員の御質問にお答えいたします。

4款1項1目の195番、地域センター病院新型コロナウイルス感染症対策支援金についてです。

まず、この支援を決定した経過でございます。

こちらは、社会事業協会の札幌の本部のほうで、新型コロナウイルス感染症業務に従事した職員に対して特殊勤務手当の支給を行うことを決定しております。それを受けて、富良野協会病院より、年明け早々でございますが、圏域連携協議会に対して支援の要望がございました。

先ほども後藤議員の御質問にお答えしたとおり、その後の圏域の担当課長会議を踏まえて、2月に入ってから圏域連携協議会委員会、いわゆる市町村長の会議で確認し、決定した次第でございます。

民間の病院ではないかという御質問でございますが、富良野圏域の地域センター病院としての公的病院というふうに位置づけられておりますので、今回、協会病院の職員の方々の感染症業務に対するモチベーションを保つて、また、離職予防にもつながる取り組みではないかということと、住民への医療提供のために懸命に働いている職員に対する支援ということで、今回の支援は圏域で取り組むことといたしましても適正ではないかと認識して進めてまいったところでございます。

また、基準額の算定をどのような形でやっているかということでございますが、社会事業協会の本部のほうで設定しているのが、まず、感染症の患者や疑いのある方に接する業務をした医療従事者の方は日額2,000円、感染症の患者ということが明らかになっている方の身体に接触して行う業務、いわゆる病床の部分などの業務の方々には日額3,000円ということで設定されてございます。

こちらの額につきましては、社会事業協会本部の現状の給料や手当などの基準に照らして設定した金額と伺っておりますので、私どもといたしましては、妥当であるという判断のもと、それに対して支援することとした次第でございます。

以上でございます。

○議長(黒岩岳雄君) 再質問ございますか。

2番渋谷正文君。

○2番(渋谷正文君) 経過については、私も納得できるお話が聞けたと思います。新型コロナウイルス感染症対策にかかわる医療機関の方々には本当に頭が下がる思い

ですので、これからもしっかりと頑張ってくださいための支援だということだと理解をさせていただきます。

その中で、確認でありますけれども、今回の算定の基準はさかのぼった形での積み上げによるものなのか。そして、報道では、他地域に支援をしに行った医療担当者もいらっしゃるということでもありますけれども、そうしたところも広く含めてこうした対応をしているのかどうか、わかる範囲で結構ですので、お知らせいただければと思います。

○議長（黒岩岳雄君） 御答弁願います。

保健福祉部長柿本敦史君。

○保健福祉部長（柿本敦史君） 渋谷議員の再質問にお答えいたします。

今回の手当でございますが、適用期間は、令和2年2月1日から令和3年3月末までの業務に対してでございます。3月までということですので、支援額についてはいまのところ見込みで算定させていただいております。

手当の適用期間は、私どもで設定した期間ではなく、社会事業協会本部として定めているものでございます。また、例えば、病院の中で働いている方か、ほかの医療機関に出勤というか、支援されている方かというのは、確認しておりません。

以上でございます。

○議長（黒岩岳雄君） よろしいですか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） そのほか質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） ないようですので、次に移ります。

7款商工費、8款土木費、46ページ下段より51ページ上段までを行います。

質疑ございませんか。

7番石上孝雄君。

○7番（石上孝雄君） 48ページ、49ページ、8款2項3目の100番、除雪対策事業費の除排雪業務委託料ですけれども、積算根拠と、また、先日、直営の排雪で事故があつて停電が起きたそうですけれども、この5,000万円の中には、安全対策費というか、ガードマンのようなものも含まれているのかどうか、お聞きいたします。

○議長（黒岩岳雄君） 御答弁願います。

建設水道部長小野豊君。

○建設水道部長（小野豊君） 石上議員の御質問にお答えいたします。

8款2項3目の100番、除雪対策事業費でございます。

こちらは、除排雪業務委託料で5,000万円の計上となっております。こちらの積算根拠ということかと思っております。

こちらは、2月27日現在で除雪費と排雪費の合計額が

2億8,400万円の支出となっております。残額が3,000万円ほどございますけれども、除雪費につきましては、2月分の残りが若干あることもございまして、残りの額としては1,000万円ほどというふうを考えているところです。

この後、3月の雪の降り方にもよりますけれども、例年の支出状況を見まして、除雪費で約3,000万円ほどと、現在、2回目の排雪を行っていますけれども、3月に3,000万円ほどの合計6,000万円ほどかかるということで、5,000万円を計上させていただいたところです。

続きまして、この委託料の中には、事故等に対し、いわゆる安全対策費も計上されております。基本的には、除雪費の経費の中で安全対策費が計上されております。特記仕様の中で、除雪に関しては交通誘導員等の設置を義務づけるというような形で行っているところです。また、事故等がありましたときに備え、この経費の中でそれぞれの業務に対する保険等を掛けることになっているところでございます。

以上です。

○議長（黒岩岳雄君） 再質問ございますか。

7番石上孝雄君。

○7番（石上孝雄君） 確認ですけれども、2月27日現在の執行高を、もう一回、正確に教えてください。

○議長（黒岩岳雄君） 御答弁願います。

建設水道部長小野豊君。

○建設水道部長（小野豊君） 石上議員の再質問にお答えいたします。

先ほど、除雪費と排雪費の合計額でお話をさせていただきました。2月27日現在で2億8,400万円ほどの支出となっているところでございます。

以上でございます。

○議長（黒岩岳雄君） よろしいですか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） そのほか質疑ございませんか。

1番宮田均君。

○1番（宮田均君） いまの石上議員の質問と同じ48ページ、49ページ、8款土木費2項3目の100番、除雪対策事業費の5,000万円追加の内容でお聞きいたします。

まず、今回、除雪の初動体制ですが、この間の雨の降った後の除雪はよかったですけれども、その後の排雪が非常に遅く、いまもまだ入ってなくて、1車線しか通れないということで市民からも非常に声が上がってきております。

いまの石上議員の質問への答弁では、27日時点で2億8,400万円の支出があり、それに5,000万円が追加されるということです。ただ、市民からは、例年はロータリー車にトラックが5台から6台ついて効率的に回っているという話もあったのですが、今回は3台とか4台ぐらいで、トラックがちょっと少ないのではないかと、効

率的に動いていないのではないかという声もございます。

やっぱり、お金と効率というのは非常に大切なことだと思うのですが、今後の予想として、一体、5,000万円ですり足りのかどうか。それから、市独自でやっている除排雪もございますが、そこら辺と今回のこの5,000万円とのかかわりも含めて、区分けがどういうふうに行われているのか、お聞きしたいと思います。

○議長（黒岩岳雄君） 御答弁願います。

建設水道部長小野豊君。

○建設水道部長（小野豊君） 宮田議員の御質問にお答えいたします。

8款2項3目の100番、除雪対策事業費でございます。

今回、追加補正をさせていただきます除排雪業務委託料の5,000万円ですり足りのかというところでございます。

もちろん、3月の雪の降りぐあいにもよるところではあるのですが、先ほど内訳を申し上げましたけれども、例年の支出状況に鑑みて、除雪費でおよそ3,000万円ほど、そして、いまも始まっていますけれども、排雪費で残り3,000万円ほどを考えているところでございます。

足りるのかというところでありまして、ことしから、市の職員を運転手として配置、増員して直営での排雪も数多くやっているところでございまして、基本的には、直営の部分も使いながらこの予算の中で何とかやっていけるのではないかとこのように考えているところでございます。

以上です。（発言する者あり）

○議長（黒岩岳雄君） 建設水道部長小野豊君。

○建設水道部長（小野豊君） 失礼しました。

市と委託部分の区分けについて、答弁漏れがございました。

今後の排雪作業につきましては、基本的には委託で考えているところでございます。ただ、いまの質問の中にもありましたとおり、道路によっては、山ができて見通しが悪い、通行に支障があるといったところが多くございます。そういった部分的なところを直営の排雪で行っていきたいというふうに考えているところです。

以上です。

○議長（黒岩岳雄君） よろしいですか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） そのほか質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） ないようですので、次に移ります。

9款教育費、11款給与費、50ページ下段より57ページまでを行います。

質疑ございませんか。

6番関野常勝君。

○6番（関野常勝君） 50ページ、51ページ、9款教育費1項教育総務費3目教育振興費の136番、「子どもと親の相談員」活用事業費についてお伺いいたします。

この事業は、日ごろの子供たちの悩みや学習などの相談が主な業務と認識しておりますけれども、この時期で34万4,000円を増額した理由についてお伺いしたいと思います。

またぎまして、52ページ、53ページ、9款教育費1項教育総務費6目特別支援振興費の100番、特別支援教育推進事業費についてお伺いいたします。

人材に対して採用できなかったことにより、550万円の減額ということでお聞きしておりますけれども、予定していた児童生徒への支援活動に影響はあったのか、そのことについてお伺いいたします。

○議長（黒岩岳雄君） 御答弁願います。

教育委員会教育部長亀淵雅彦君。

○教育委員会教育部長（亀淵雅彦君） 関野議員の御質問にお答えいたします。

9款1項3目教育振興費の136番、「子どもと親の相談員」活用事業費の増額の件でございます。

こちらにつきましては、議員から御指摘のとおり、子供たちの心のケアのためにスクールカウンセラー等々を派遣する事業でございます。

今回の増額につきましては、やはり、コロナ禍の関係もございまして、夏休みや冬休みが短縮したこともあって、その中で、相談を受けたいという子供たちが若干ふえてきているところでございます。その子供たちへの対応をしていくということで、今回、増額をさせていただいたところでございます。

もう一点、9款1項6目特別支援振興費の100番、特別支援教育推進事業費の関係でございます。

こちらにつきましては、当初、27名の支援員を予定していたところでありまして、その中で、週30時間で勤務いただく支援員を考えていたところでもありますけれども、その部分が21名ということで少なくなったこと、また、新規採用が1名ほどできなかったことがございます。

トータル的人数としては当初より約1名少なかったわけでありまして、トータルの時間数も少し減ったわけではありますが、その中で、優先順位等々に鑑みながら必要な対応をしてきたところでありまして、大きな支障はなかったというふうに考えているところであります。

以上です。

○議長（黒岩岳雄君） よろしいですか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） そのほか質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） ないようですので、次に移りま

す

次に、歳入及び第2条繰越明許費の補正、第3条地方債の補正について行います。

6ページから9ページまで及び14ページから29ページまでを行います。

質疑ございませんか。

12番佐藤秀靖君。

○12番（佐藤秀靖君） 26ページ、27ページ、21款諸収入5項雑入で、備荒資金組合交付金のマイナス1億8,065万9,000円について伺います。

このマイナス補正は、全体の財源調整というふうに事前に伺っております。財源調整ということであれば、本来は財政調整基金で調整を行うべきものではないかというふうに考えるところであります。備荒資金組合で出し入れするという事は、この備荒資金組合の活用の趣旨とも合致しないというふうに思います。

こうした対応にした理由について、お聞かせください。

○議長（黒岩岳雄君） 御答弁願います。

財政課長藤野秀光君。

○財政課長（藤野秀光君） 佐藤議員の御質問にお答えいたします。21款5項の備荒資金組合交付金について、財源調整ということで計上させていただいている部分で、趣旨に反しているのではないかという御質問です。

備荒資金組合のほうに納付している部分につきましては、中身的には普通納付金と超過納付金がありまして、本来の目的である普通納付金については手をつけているところはなく、超過納付金で財源調整を行わせていただいております。

以上です。

○議長（黒岩岳雄君） よろしいですか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） そのほか質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） なければ、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

---

日程第2

議案第10号 令和2年度富良野市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

○議長（黒岩岳雄君） 日程第2、議案第10号、令和2年度富良野市国民健康保険特別会計補正予算を議題とい

たします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑は、本件全体について行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） なければ、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

---

日程第3

議案第11号 令和2年度富良野市介護保険特別会計補正予算（第3号）

○議長（黒岩岳雄君） 日程第3、議案第11号、令和2年度富良野市介護保険特別会計補正予算を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑は、本件全体について行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） なければ、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

---

日程第4

議案第12号 令和2年度富良野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

○議長（黒岩岳雄君） 日程第4、議案第12号、令和2年度富良野市後期高齢者医療特別会計補正予算を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑は、本件全体について行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） なければ、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

---

#### 日程第5

#### 議案第13号 令和2年度富良野市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

○議長(黒岩岳雄君) 日程第5、議案第13号、令和2年度富良野市公共下水道事業特別会計補正予算を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑は、本件全体について行います。

質疑ございませんか。

2番 渋谷正文君。

○2番(渋谷正文君) 12ページ、13ページ、1款2項2目処理場事業費の100番、処理場事業費(公共)の1億1,735万1,000円の減額についてお伺いいたします。

これは、国の社会資本整備総合交付金との兼ね合いもあろうかと思いますが、今回、減額がなぜこれほど大きくなったのか、説明していただきたいと思います。

○議長(黒岩岳雄君) 御答弁願います。

建設水道部長小野豊君。

○建設水道部長(小野豊君) 渋谷議員の御質問にお答えいたします。

12ページ、13ページ、1款2項2目の100番、処理場事業費(公共)の富良野水処理センターストックマネジメント改築・更新工事費の1億1,480万円の減額の理由であります。こちらは、国の交付金の枠配分の中でその交付金が減額されて、その事業費に合わせた事業の見直しを行っての減額というふうにご覧いただいております。

以上でございます。

○議長(黒岩岳雄君) 再質問ございますか。

2番 渋谷正文君。

○2番(渋谷正文君) いま、減額の理由を聞いたのですけれども、昨年度は6,000万円ほどの減額でありました。今年度は、富良野水処理センターストックマネジメント改築・更新工事費で言えば1億1,480万円の減額ということで、減額の割合が大きくなってきております。

こうした状況は、国の配分が少なくなっているからということではありますけれども、国の配分がさらに少なくなってきたという理解でよろしいのでしょうか。

また、こうしたことが起きたことによって、施設の長寿命化がおくれていくことになろうかと思っております。こうしたおくれについて、この後、うちのまちの大切な下水

道施設を長く使うことに支障が出てこないかという懸念がありますので、そうしたところの考え方についてお知らせいただきたいと思っております。

○議長(黒岩岳雄君) 御答弁願います。

建設水道部長小野豊君。

○建設水道部長(小野豊君) 渋谷議員の再質問にお答えいたします。

この国の交付金につきましては、常日ごろより、市町村からも交付金の確保に向けてお願いをしているところでございます。

しかしながら、この下水道事業だけに限らないのですが、現在、いろいろな交付金事業の中で、要求額になかなか届かないという形が続いております。こちらにつきましては、今後も要求額の確保に向けて国に働きかけていきたいというふうに思っております。

また、今後もこういった状況が続きますと、ストックマネジメント計画そのもの自体に影響が出てくるというふうに我々も考えているところでございます。そこにつきましても、予算の確保に向けて要求していくことは確かですが、計画の多少の見直しといったようなところも出てきてしまうのかなというふうに考えているところでございます。

以上です。

○議長(黒岩岳雄君) よろしいですか。

(「了解」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) そのほか質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) なければ、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

---

#### 日程第6

#### 議案第14号 令和2年度富良野市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

○議長(黒岩岳雄君) 日程第6、議案第14号、令和2年度富良野市簡易水道事業特別会計補正予算を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑は、本件全体について行います。

質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) なければ、以上で本件の質疑を



終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

---

日程第7

議案第15号 令和2年度富良野市水道事業会計  
補正予算(第2号)

---

○議長(黒岩岳雄君) 日程第7、議案第15号、令和2年度富良野市水道事業会計補正予算を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑は、本件全体について行います。

質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) なければ、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

---

散 会 宣 告

---

○議長(黒岩岳雄君) 以上で、本日の日程は終了いたしました。

3月2日、3日は、議案調査のため、休会であります。

3月4日の議事日程は、当日御配付いたします。

本日は、これをもって散会いたします。

午前10時41分 散会

上記会議の記録に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和 3年 3月 1日

議 長 黒 岩 岳 雄

署名議員 松 下 寿美枝

署名議員 宇 治 則 幸